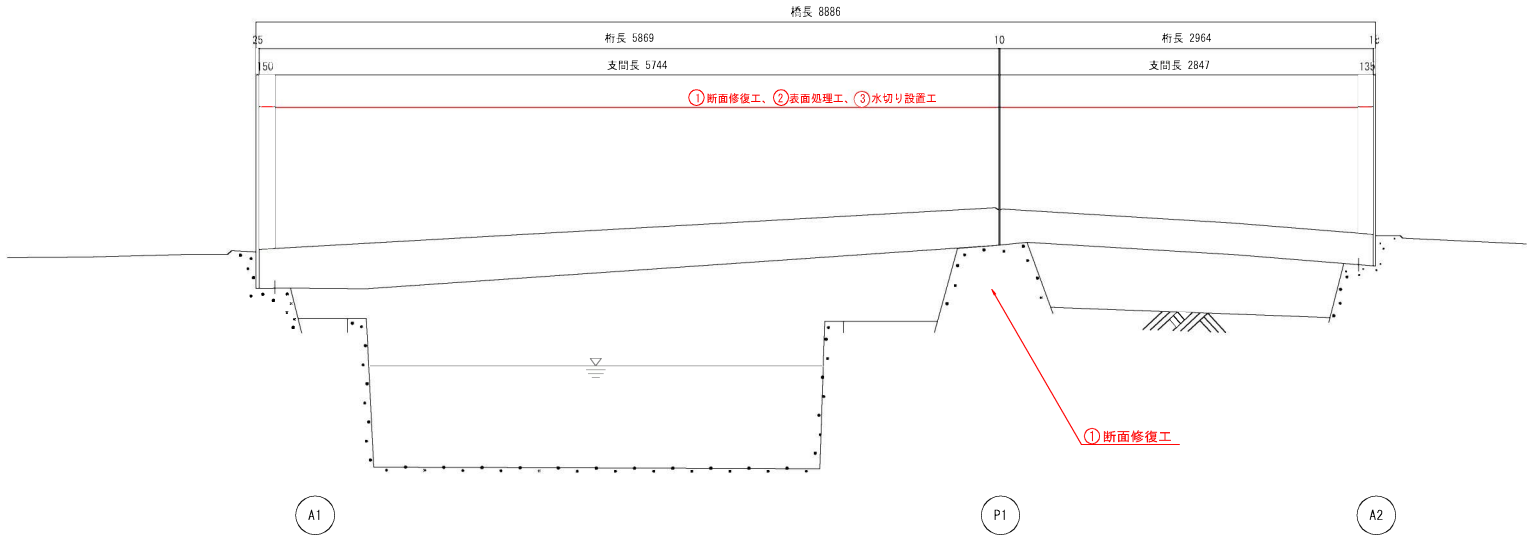
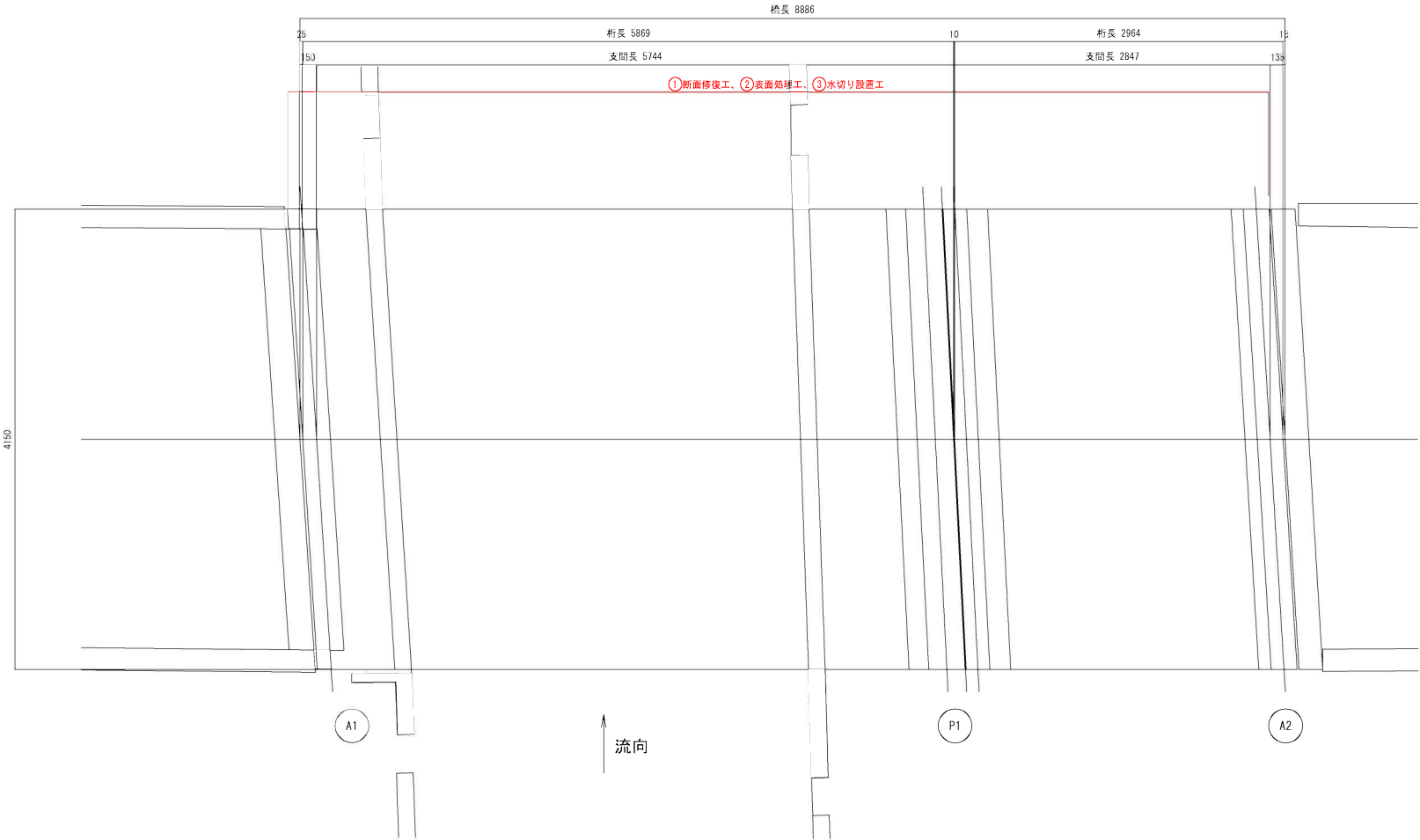


岩瀬川橋 補修計画一般図

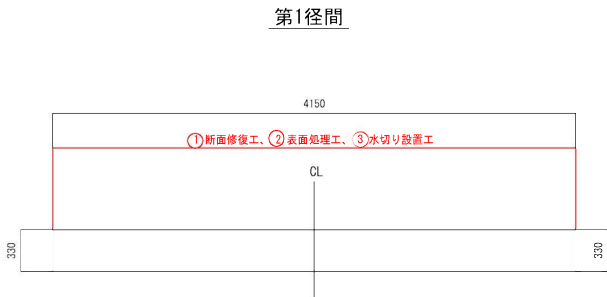
側面図 S=1:60



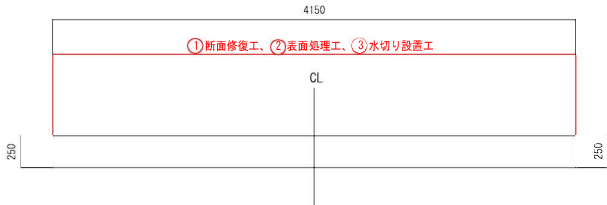
平面図 橋面 S=1:60



標準断面図 S=1:60



第2径間



岩瀬川橋 補修項目一覧

補修工種		部位	補修概要	備考
①	断面修復工 (左官工法)	床版、橋脚	剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損箇所を左官工法で補修する。	
②	表面処理工	床版	中性化対策として表面処理工による補修を行う。	
③	水切り設置工	床版	路面からの強い水対策として床版下面に水切り材を設置する。	

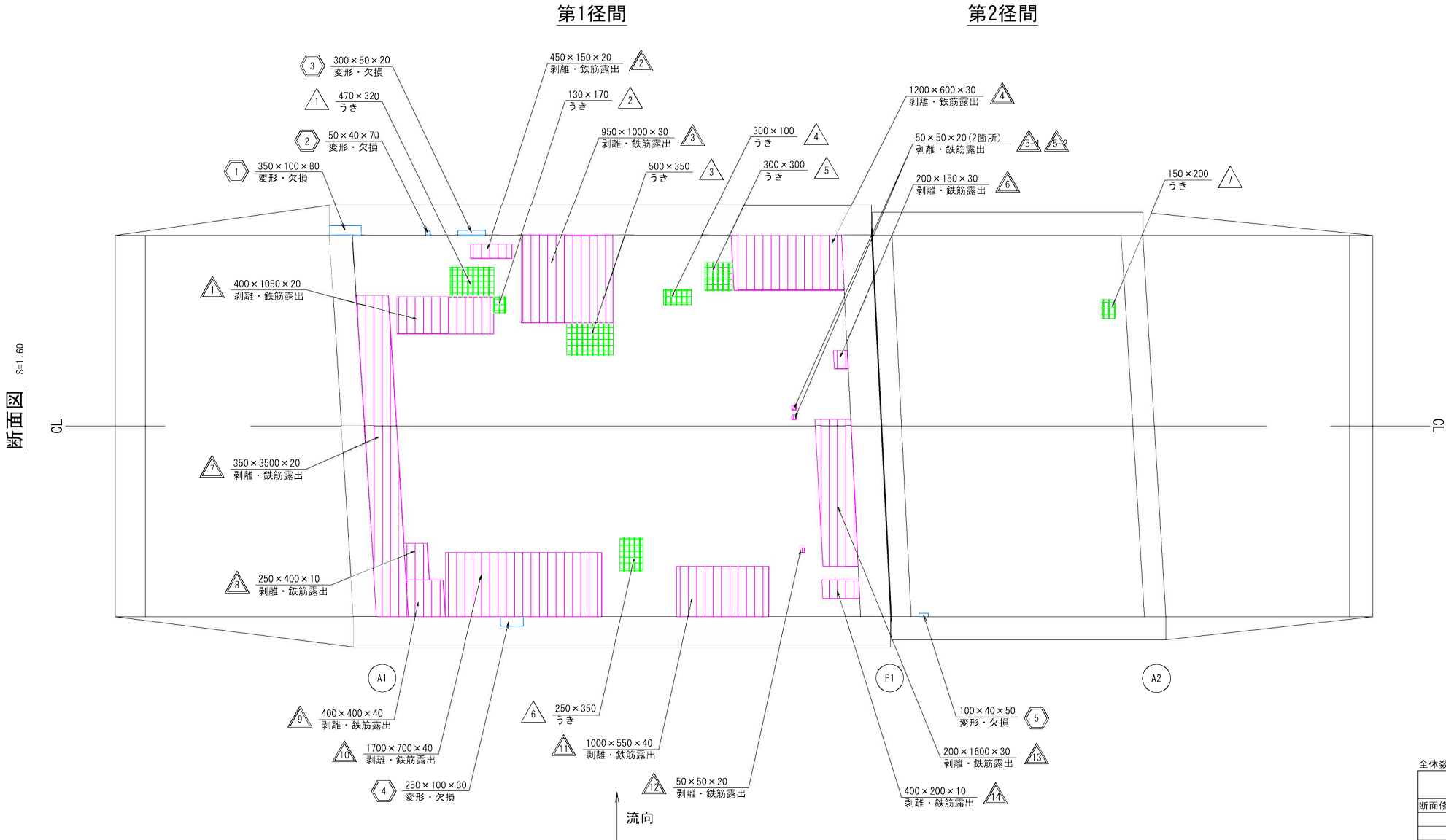
※1 形状寸法は、現地計測結果を基に作成した。

留意事項
※本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、
施工に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

南 国 市			
工事種別	道路メンテナンス事業補助 市道南国112号線橋梁修繕工事(岩瀬川橋)		
図面名称	岩瀬川橋 補修計画一般図	縮尺	図示
路線河川名	市道南国112号線		
工事箇所	高知県 南国市 岡豊町 吉田		
設計種別	実施設計書	図面 番号	1
事務所名	南国市役所 建設課		4

岩瀬川橋 コンクリート補修工(上・下部工)(その1)

平面・展開図
床版下面



数量表:断面修復工(左官工法)

工種	損傷部	損傷名	番号	損傷寸法			数量
				W(m)	L(m)	深さ(m)	体積(m3)
断面修復工(左官工法)	床版	剥離・鉄筋露出	1	0.400	1.050	0.020	0.0084
			2	0.450	0.150	0.020	0.0014
			3	0.950	1.000	0.030	0.0285
			4	1.200	0.600	0.030	0.0216
			5-1	0.050	0.050	0.020	0.0001
			5-2	0.050	0.050	0.020	0.0001
			6	0.200	0.150	0.030	0.0009
			7	0.350	3.500	0.020	0.0245
			8	0.250	0.400	0.010	0.0010
			9	0.400	0.400	0.040	0.0064
			10	1.700	0.700	0.040	0.0476
			11	1.000	0.550	0.040	0.0220
			12	0.050	0.050	0.020	0.0001
			13	0.200	1.600	0.030	0.0096
			14	0.400	0.200	0.010	0.0008
					小計	0.1728	
		うき	1	0.470	0.320	0.040	0.0060
			2	0.130	0.170	0.040	0.0009
			3	0.500	0.350	0.040	0.0070
			4	0.300	0.100	0.040	0.0012
			5	0.300	0.300	0.040	0.0036
			6	0.250	0.350	0.040	0.0035
			7	0.150	0.200	0.040	0.0012
						小計	0.0069
		変形・欠損	1	0.350	0.100	0.080	0.0028
			2	0.050	0.040	0.070	0.0001
			3	0.300	0.050	0.020	0.0003
			4	0.250	0.100	0.030	0.0008
			5	0.100	0.040	0.050	0.0002
						小計	0.0042
	P1橋脚	欠損	1	0.300	0.050	0.020	0.0003
						小計	0.0003
						合計	0.1842

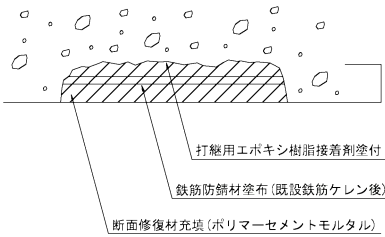
ここに、断面修復工は「鉄筋ケレン+防錆処理有り」を示す。
※1 断面修復材はポリマーセメントモルタルとする。
※2 損傷名「うき」の損傷深さは、t=40mm(鉄筋露出の最大深さ)の数量を計上。
※3 損傷番号は損傷図より引用したものである。

全体数量表:断面修復工(左官工法)

工種	損傷部	図面種別	損傷名	数量
断面修復工(左官工法)	床版・P1橋脚	コンクリート補修工(上・下部工)(その1)	剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損	0.1842
合計				0.1842

ここに、断面修復工は「鉄筋ケレン+防錆処理有り」を示す。
※1 断面修復材はポリマーセメントモルタルとする。
※2 損傷名「うき」の損傷深さは、t=40mm(鉄筋露出の最大深さ)の数量を計上。

断面修復工(防錆処理有り)
(剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損)



※1 はつり範囲にカッターを入れ電動ピックにより、ひび割れあるいは剥離箇所の脆弱部をはつり除去する。また、鉄筋の錆は、ペーサンダー等により除去する。
※2 新旧接着面にプライマーを下塗りした後、断面修復材(ポリマーセメントモルタル)により損傷部を充填する。

施工フロー

- 清掃
- ↓
- カッター切断
- ↓
- はつり
- ↓
- 防錆材塗布
- ↓
- モルタル充填

凡例

損傷の種類	表示		補修工法
	位置	番号	
剥離・鉄筋露出			断面修復工(左官工法)
うき			
変形・欠損			

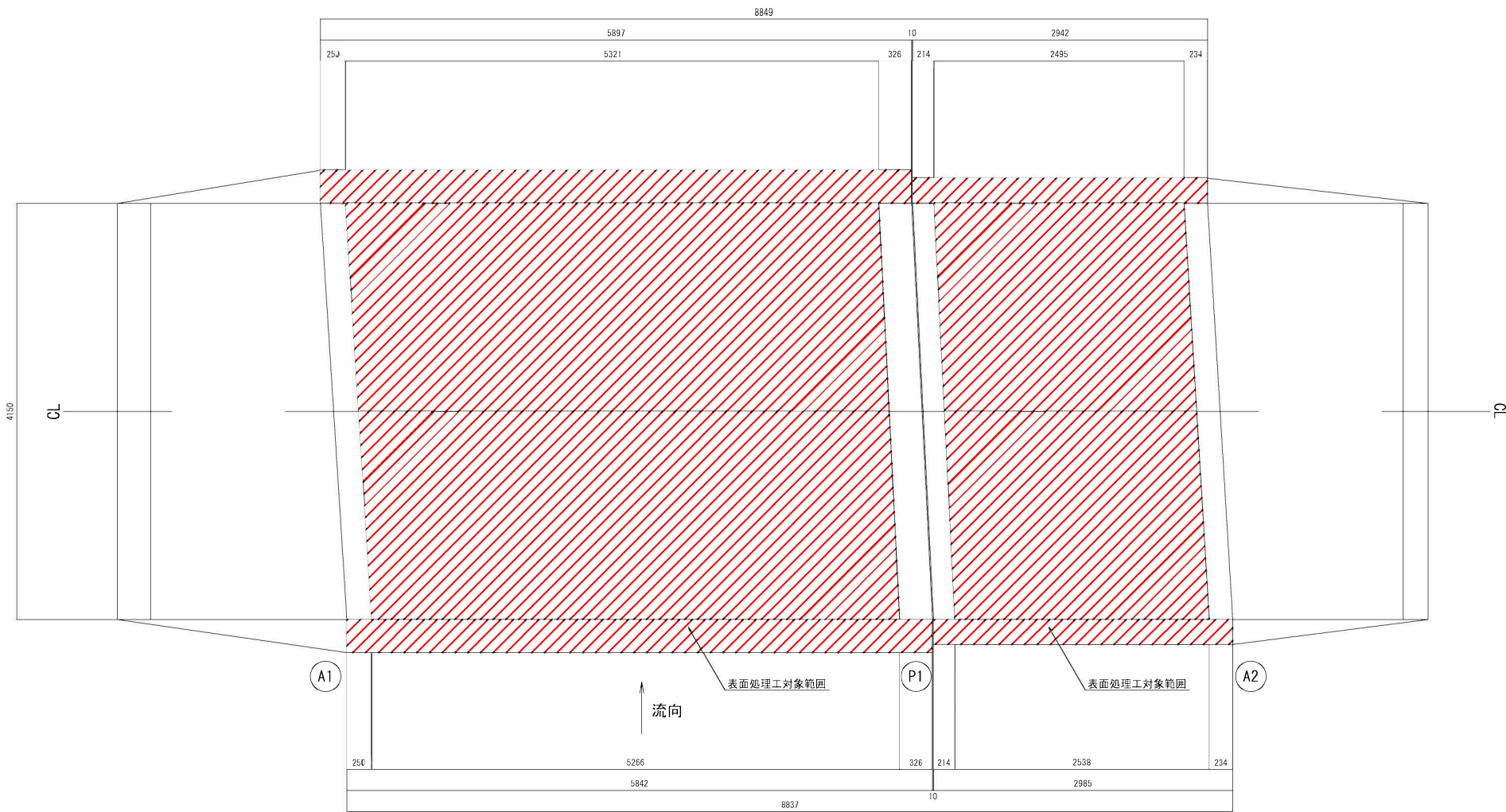
留意事項
※本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、施工に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

南国市			
工事種別	道路メンテナンス事業補助 市道南国112号線橋梁修繕工事(岩瀬川橋)		
図面名称	岩瀬川橋コンクリート補修工(上・下部工)(その1)	縮尺	図示
路線河川名	市道南国112号線		
工事箇所	高知県 南国市 岡豊町 吉田		
設計種別	実施設計書	図面番号	2
事務所名	南国市役所 建設課		4

岩瀬川橋 コンクリート補修工(上・下部工)(その2)

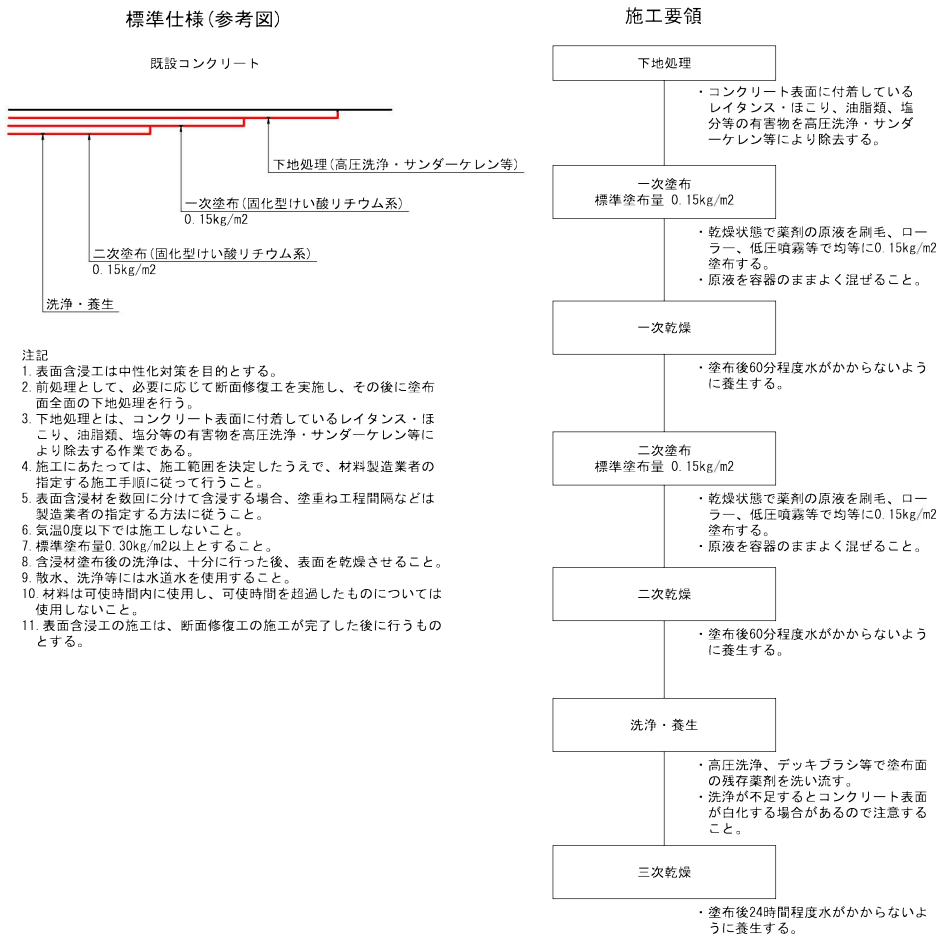
表面処理工

平面図 S=1:60



表面含浸工構造図

(固化型けい酸リチウム系コンクリート表面含浸材)



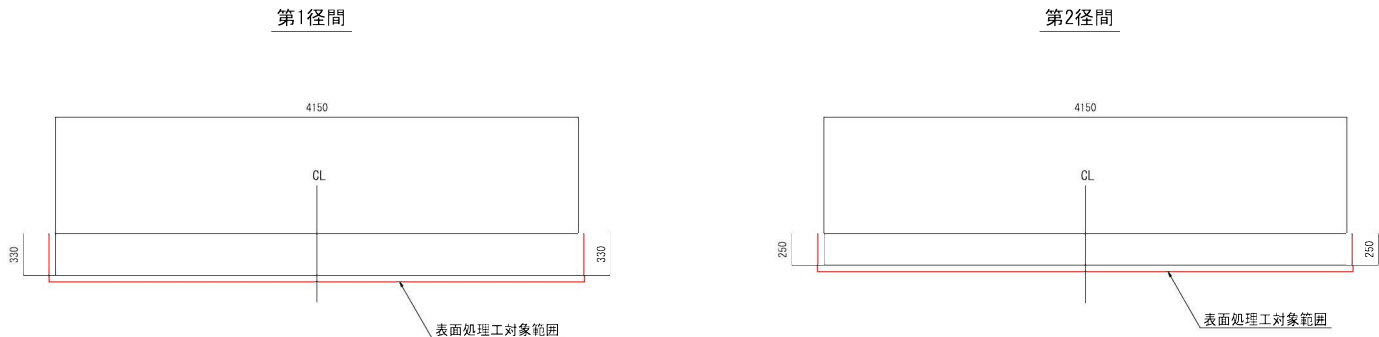
表面含浸工

項目	仕様	単位	数量	備考
下地処理工	高圧洗浄・サンダーケレン等	m ²	37.78	
含浸材塗布工	固化型けい酸リチウム系 標準塗布量0.30kg/m ²	m ²	37.78	

注記

- 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行うこと。

断面図 S=1:60



南国市				
工事種別	道路メンテナンス事業補助 市道南国112号線橋梁修繕工事(岩瀬川橋)			
図面名称	岩瀬川橋コンクリート補修工 (上・下部工)(その2)	縮尺	図示	
路線河川名	市道南国112号線			
工事箇所	高知県	南国市	岡豊町	吉田
設計種別	実施設計書	図面 番号	3	
事務所名	南国市役所	建設課	4	

留意事項

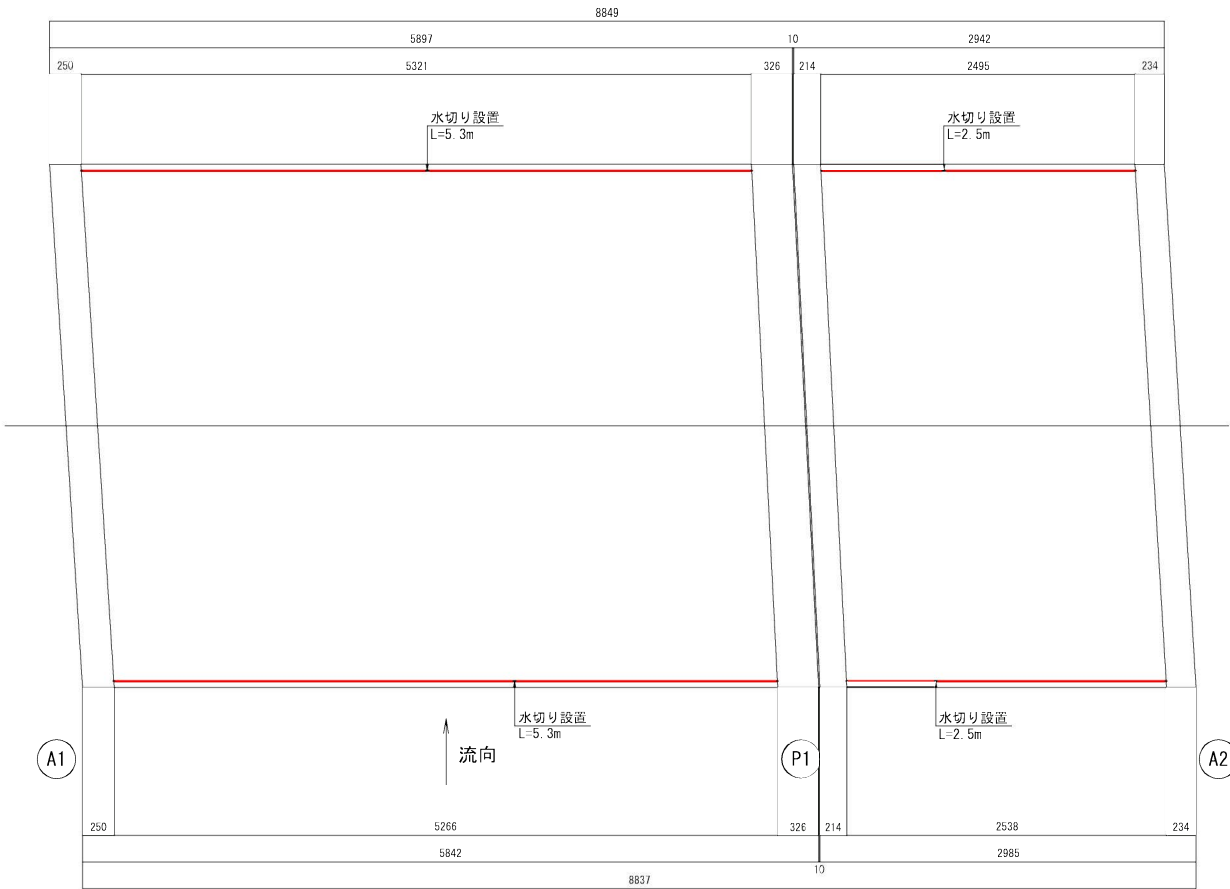
※本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、
施工に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

岩瀬川橋 コンクリート補修工(上・下部工)(その3)

水切り工

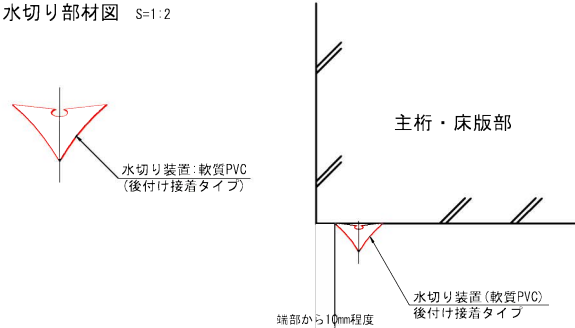
平面図 S=1:60

桁下面



水切り工取付詳細図 S=1:4

水切り部材図 S=1:2



施工要領

下地処理

・水切り材の付着性を高めるため、コンクリート表面のホコリ、遊離石灰、油脂類、塩分などを、サンダーケレンなどにより、入念に除去する。

接着剤の塗布

・水切り材に専用接着剤を塗る。
表面含浸材塗布後
翌日(24時間)以降に接着剤塗布

躯体への取付

・コンクリート面に水切り材を圧着する。

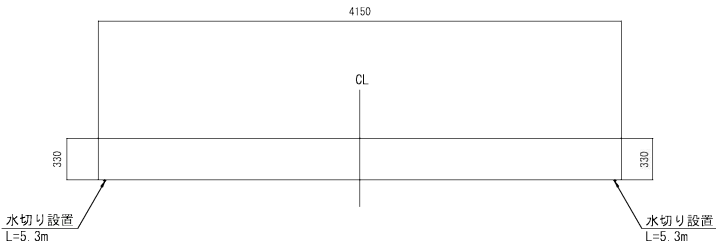
水切り工

項目	仕様	単位	数量	備考
水切り装置		m	15.6	5.3+5.3+2.5+2.5= 15.6

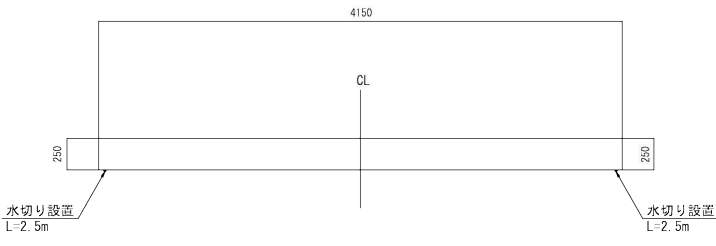
注記
1. 現地状況確認・寸法確認のうえ施工を実施すること。
2. 施工にあたっては、製品仕様・施工要領確認のうえ実施すること。
参考材料として、(株)IHインフラ建設 製品名 水切りアイドリップを記載する。
3. 上記製品は同等品として取り扱う。

断面図 S=1:60

第1径間



第2径間



留意事項
※本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、
施工に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

南 国 市				
工事種別	道路メンテナンス事業補助 市道南国112号線橋梁修繕工事(岩瀬川橋)			
図面名称	岩瀬川橋コンクリート補修工 (上・下部工)(その3)	縮尺	図示	
路線河川名	市道南国112号線			
工事箇所	高知県	南国市	岡豊町	吉田
設計種別	実施設計書		図面 番号	4
事務所名	南国市役所	建設課		4